

令和5年10月25日研究公開報告

令和4・5年度大隅地区研究協力校研究公開

曾於市立財部南小学校で

「へき地・小規模校教育【算数科】」についての研究公開が開催されました。

令和5年10月25日（水）に、曾於市立財部南小学校にて、大隅地区研究協力校「へき地・小規模校教育（算数科）」の研究公開が行われました。財部南小学校は、令和4年度から2年間、学び合い学習を視点に研究を進めてきました。

研究主題は「子供が主体的に学習する複式学習指導の工夫～学び合う算数科学習を通して～」です。当日は、学び合い学習の流れ、見通しをもって学び合い学習を進めるための板書やワークシートの工夫、話し合いを支える三角ロジック、話し合いを深めるリボイシングとリフレクティブトスなどが研究内容として示されました。そして、公開授業で表出した児童の姿から研究の成果が伝わり、授業研究で協議が深まる素晴らしい研究公開となりました。



【閉会のあいさつ】
川畑 由美子 校長先生

【研究発表】

研修系の徳重先生は、まず、教師の間接指導の難しさ、「指示待ち」の子供が多い実態等から、研究に取り組んだことを紹介されました。次に、授業の写真や動画を示しながら、これまでの実践と関連付けて学び合い学習を充実させるための研究内容を分かりやすく説明されました。児童が相互に発言しながら、主体的に学び合う様子の動画等から研究の成果が具体的に伝わる素晴らしい研究発表となりました。



【研究発表の様子】

【授業研究】

授業研究では、子供が自分たちで学びを進める姿が話題になりました。特に、学び合いの場面では、ガイドが先頭に立って進める方法ではなく、子供たちが相互に発言をしながら進めていく姿や、自分の主張を伝えた後に根拠を伝える姿を基にして協議が深まりました。また、授業の終末で子供たちが一生懸命、振り返りを書いて共有していた姿から、振り返りの意義まで話題となる授業研究になりました。



【授業研究の様子】

【公開授業：複式第1・2学年 算数】

題材 1年「たしざん」

題材 2年「かけ算」

1年生は、「 $8 + 6$ 」の計算の仕方について考える学習でした。10のまとまりをつくることに着目し、自分の力で説明する姿が見られました。先生から出された8と6の両方を分けて10のまとまりをつくる方法について、頭の中をぐるぐる働かせて考える姿が印象的でした。

2年生は、「 3×7 」の計算について考える学習でした。既習内容を生かして主体的に学習を進める姿が見られました。終末で、自分の学びを振り返り、一生懸命書く姿が印象的でした。

【公開授業：複式第5・6学年 算数】

題材 5年「分数のたし算とひき算」

題材 6年「比とその利用」

5年生は、異分母のひき算について考える学習でした。既習事項を活用して考えて、その後さらに、先生との対話や参考意見を基に考えを深めていました。

6年生は、同じ濃さの乳酸飲料水を違う量で作る際の割合について、比を使って考える学習でした。1時間の学習過程を見通してMC役の児童が進行し、友達同士で解決方法を話し合いながら課題解決し、自分たちの言葉でまとめや振り返りまで行っていました。



【1・2年生の授業】



【5・6年生の授業】